



こんにちは 渡辺みのるです

1985年東村山市生まれ、30歳。

日本共産党

東村山市議会議員

活動地域

恩多町・久米川町・全生園・野口町・多摩湖町

第14号(2016年5月号)

こんなに必要？

市内あちこちに大型道路

未着手路線の見直し実績		路線数	延長(km)
大阪府	280	路線	386.0
埼玉県	49	路線	53.2
神奈川県	35	路線	39.5
東京都	1	路線	1.3
全国	1798	路線	2050.6

全国の都市計画道路見直し実績(2015年度末時点)

全国でひろがる道路整備の見直し 東京都だけが大型道路を推進

東京都は、「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」を策定し公表しました。

この計画の中では、東村山市内に6本もの優先整備路線(今後10年以内に事業認可の取得を目指す路線)が位置付けられています。

現在計画されている都市計画道路が、すべて整備されれば東村山市に網の目のように大型道路が張り巡らされてしまいます。(下地図)

全国では、都市計画道路のゼロベースでの見直しが始まっており、計画を白紙にしている自治体も生まれてきていますが、東京都ではほとんど見直しがされていません。(左表)

東京都は道路整備の目的を、「渋滞の解消」と「防災のため」としていて、東村山市も同様の理由をあげています。

しかし、車の保有台数は減少し続け、人口も渋滞も減少傾向にあります。

しかも、東村山市では鉄道立体化事業が始まっており、完成すればさらに渋滞は起きにくくなります。

多額の税金を使い、急いで整備する理由などどこにもないはずですよ。

また、「防災のため」といっても、大型道路は火災の延焼防止や、緊急車両や輸送車両の通行など「事後防災」の機能しか果たせません。

市民の命を守る考えがあるのであれば、住宅の耐震化補助の拡充や、地震火災の発生そのものを防ぐ「感心ブレーカー」の普及を進めるべきです。

大型道路よりも生活道路の補修・改善予算の増額を

不要・不急の大型道路に多額の税金を使う一方で、市内の生活道路の補修・改善のための予算は毎年1億円程度です。

市内には、デコボコが目立つ、狭い、歩道がない、街路灯が少ないなどといった道路が数多く見受けられます。

市民生活の基盤である生活道路の、補修・拡幅や歩道の設置などを計画的にすすめる、子どもやお年寄り、障がい者が安心して歩ける道路整備こそが自治体の責任ではないでしょうか。

市民要求を実現し、大型開発優先から、市民のくらしと命を守る政治に転換するために、これからも運動を広げていきます。

渡辺みのるブログ

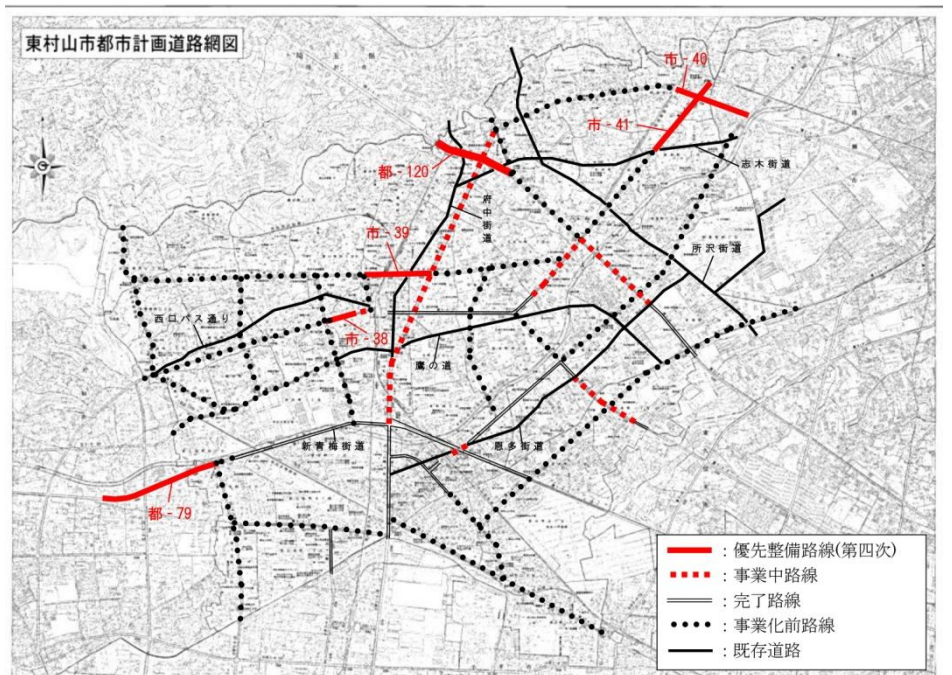
<http://wminoru.exblog.jp/>

ツイッター

@musashino_udon

フェイスブック

<http://www.facebook.com/watanabeminoru>



東村山市の都市計画道路の様子(計画のみ、完成済みの道路も含む)

2016年5月

渡辺 みのる 〒189-0011 東村山市恩多町 4-29-7

TEL : 070-2177-7629

mail : minoru_watanabe@ezweb.ne.jp

市民の声にこたえる市政を



公立保育所民間移管 拙速な市に保護者から不安の声

東村山市は、公立保育園の民間移管を着々と進めています。

3月29日の、「民間移管ガイドライン検討会議」では、ガイドラインの共通項目が集約されました。

4月27日には、個別項目の議論が始まり、保護者にも内容が説明されました。

個別項目はわずか7項目しかないうえに、保護者にたいする説明も1回のみで集約しようとしています。

保護者の中からは、市のあまりにも拙速な進め方に不安の声があがっています。

2016年4月時点での待機児が76人(新基準)と昨年から倍増しています。(左表) 保育をおこなう責任をもつ自治体として、民間移管などではなく待機児対策こそ急ぐべきではないでしょうか。

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
申込児童数	2,279	2,300	2,411	2,438	2,575
入所児童数	1,942	2,123	2,224	2,374	2,455
待機児童数	195	81	97	32	76
0歳児	29	7	9	1	24
1歳児	66	26	31	12	38
2歳児	65	26	27	7	10
3歳児	25	18	20	7	4
4歳児以上	10	4	10	5	0

過去5年の待機児童の推移(東村山市発表)

市は民間移管のために、3億円もかけて国有地を購入します。

この土地は、民間移管のためではなく新しい保育園を誘致する土地として活用するべきです。

児童クラブも民営化 学保連総会まえに説明

市は、保育園に加えて児童クラブまでも民営化しようとしています。

5月14日(土)に開催された学保連の総会に先立ち、保護者にたいし市から説明がありました。

現在児童クラブでは、待機児童が保育園待機時よりも多いことや、障がい児枠と保育時間の拡充などが問題となっています。

いま必要なのは、民営化などではなく、保護者の要求にこたえて児童クラブの大幅な拡充です。

市民要求にこたえる 暖かい市政を

市は財政が厳しいといって、予算編成方針のなかで「社会保障の義務的経費も含めてゼロベースで見直す」としています。

本当に財政が厳しいのであれば、見直すべきは社会保障ではなく大型開発ではないでしょうか。

市民からは、保育や教育、障がい者支援、道路、産業振興など様々な要求が出されています。

今こそ、市民の要求にまっすぐこたえる市政を、一緒に作りましょう。

渡辺みのる活動報告

4月6日(水)
大岱小学校入学式に参加

4月7日(木)
第5中学校入学式に参加

4月10日(日)
「憲法をくらしにいかす、明るい東村山の会」講演会に参加



講演をする
宇都宮健児弁護士

4月19日(火)
三多摩法律事務所主催
「生活保護制度学習会」に参加

4月30日(土)
日本共産党東村山市議団主催
市政報告会開催

5月1日(日)
三多摩メーデーに参加



三多摩メーデーの様
子井之頭公園にて

5月8日(日)
第39回こどもまつりに参加

5月13日(金)
東村山市総合水防訓練に参加

市議団法律相談

毎月第3水曜日

要予約：お気軽にお電話

下さい

～渡辺みのる携帯～

070-2177-7629

東村山市議会6月定例会

2016年6月6日(月)

～6月27日(月)

どなたでも傍聴できます

東村山市役所5階まで